SHI 縣婦 MANE

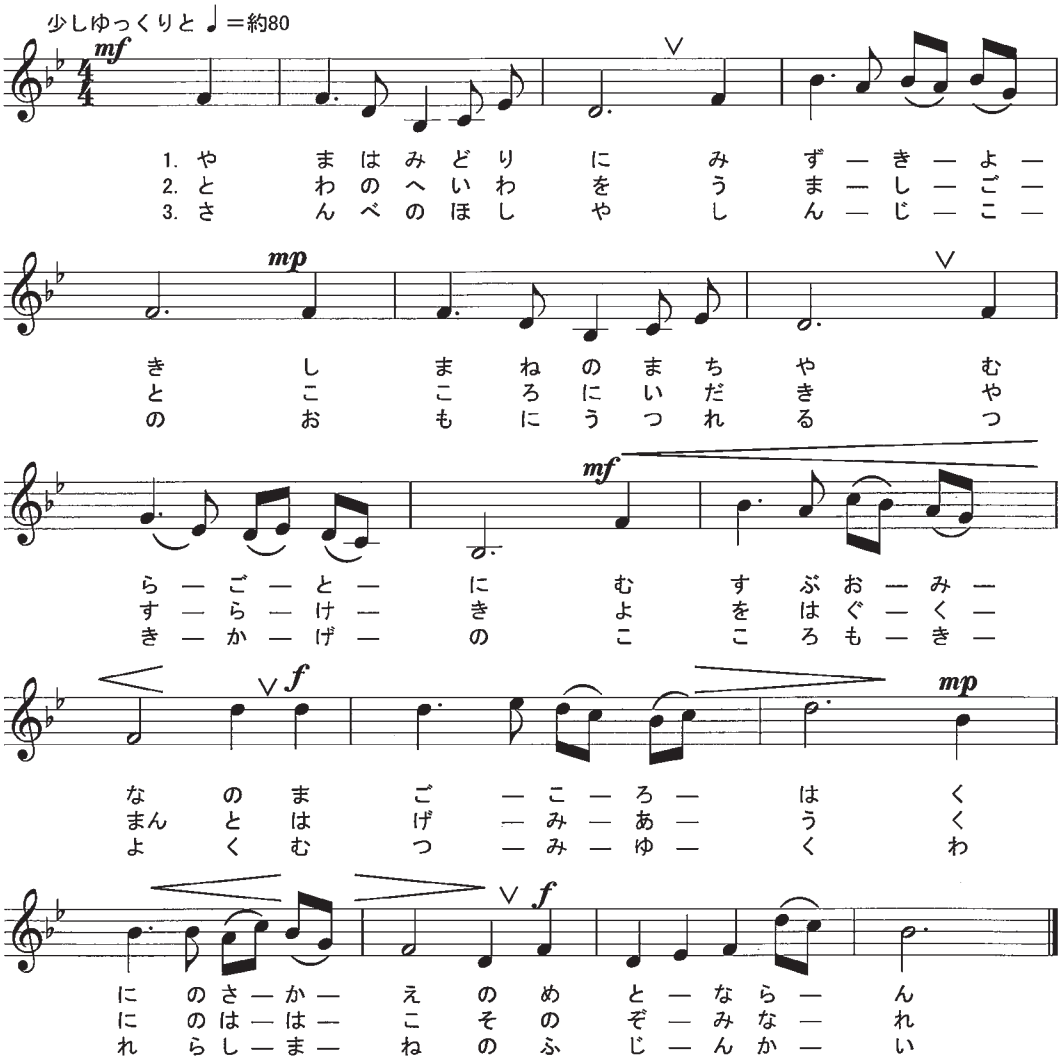
島根県連合婦人会

70周年記念誌

Anniversary Book

島根県連合婦人会会歌

（昭和25年11月制定）
作詞　長岡しげを
作曲　竹内　尚一



一、山はみどりに水きよき
島根のまちや村ごとに
むすぶおみなのまごころは
国の栄の芽とならむ

二、永久（とわ）の平和をうまし児と
心にいだきやすらけき
世を育まんとはげみあう
国の母こそ理想（のぞみ）なれ

三、三瓶の星や宍道湖の
面にうつれる月かげの
心もきよくむつみゆく
われら島根の婦人会

発刊に寄せて

島根県連合婦人会
会　長　野々内　さとみ

島根県連合婦人会は、昭和23年7月「島根県婦人団体協議会」として会員7万人で発足し、翌年5月「島根県連合婦人会」へ改組されました。この度70周年記念誌を作成するにあたり、年譜を紐解いてみました。

私たちが毎年歌っている会歌は、昭和25年歌詞を公募し松江市白潟本町の長岡しげを氏の詞が決定、島大教授竹内尚一先生に作曲してもらい、会歌発表会は島大附小音楽室だったそうです。新しい息吹が芽生えていく力をもうこの3年間で実感し、まさしく島根の女性の歩み“Women's history”に釘付けになりました。

昭和26年1月には島根県赤十字奉仕団が結成され、2月には第1回愛の募金運動が始まり1口1円で109,279円集まっています。その時の会員は8.5万人で会費は2円でした。翌27年7月に全国地域婦人団体連絡協議会が結成され、加入していきます。28年度には電気料金値上げ反対運動を起こし県内50万人の署名を集め上京、公聴会に提出とあります。この年にぼたんが「島根県の花」に決まっています。30年度には会館は「社会会館」として、婦人会・県社協・県共同募金会の三者で建設と決定し地鎮祭を行うと記録してありますが、31年度会館問題にこじれが生じ、11月婦人会館単独建設を決議し募金活動に着手。32年11月に婦人会館が開館しました。それは一代目の会館であり、二代目の5階建ての婦人会館は44年度に建設構想及び資金についての検討が始まり、9.4万人の会員（会費10円）が一人300円拠出と一人1,000円平均の建設債券発行を決定し46年6月に竣工式を迎えています。一つの目標に向かって女性たちが総動員で力を合わせているマグマのような力強さに感動です。

その後は私たちの親世代からの活動ですので様子はおわかりの事と思います。いつの時代も「世の為人の為、皆が幸せに生きていける社会づくり」を基本に活動しています。平成17年の市町村合併以降、会員数も減り考え方の多様化で難しい面もありますが、私たちの心には先輩諸姉のDNAが引き継がれています。胸を張って100年続く婦人会としてこれからも協力して歩んでいきましょう。

令和2年度は「島根創生」と「災厄対応」へのスタートとなりました。行政や他団体と連携を図りながら私たちに出来ることを一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいと思います。

結びに、ご多用中玉稿を賜りました丸山県知事はじめ皆様方、地域活動を紹介して下さった会長様方に心から厚くお礼を申し上げ、70周年記念誌発行の挨拶と致します。

ご挨拶

島根県知事
丸　山　達　也

島根県連合婦人会が創立70周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

島根県連合婦人会におかれましては、昭和23年の結成以来、70年の長きにわたり、地域や家庭を取り巻く様々な課題に積極的に取り組んでこられました。

また、会員の皆様方には、平素から地域におけるリーダーとして、女性の社会参加の促進、消費者問題・環境問題への対応、青少年の健全育成、子育て支援、地域交流活動など、多岐にわたり精力的に活動され、多くの成果を挙げておられます。

特に、近年におかれては、マイバック持参運動や食品ロス削減運動などの消費者活動、また、足し算の省エネや食べきりレシピの考案などの環境活動について、会員の皆様が、熱心に取り組んでおられることに深く敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化・人口減少が進む中で、地域を活性化していくためには、様々な分野において、女性活躍の推進が益々重要となっております。

このたび県においては、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」の実現を目指し、市町村や関係団体、また県内各地域で開催しております「女性活躍100人会議」などからの様々なご意見を踏まえ、「島根創生計画」を策定いたしました。

この計画においては、地域や職場などあらゆる分野における女性の活躍や、安心して家庭や仕事に取り組むことができる環境づくりを進めていくこととしております。

それぞれの地域で女性リーダーとして活躍しておられる皆様方には、このたびの創立70周年を節目として、女性が社会の様々な分野で活躍できるよう、一層のお力添えを賜りますとともに、引き続き県の施策推進にご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、島根県連合婦人会の今後益々のご発展と、皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

挨　拶

島根県議会
議 長　中　村　芳　信

島根県連合婦人会が創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

県連合婦人会におかれましては、昭和23年の創立以来、長年にわたり、めまぐるしく変化する時代の要請を的確に把握され、女性の地位向上の取り組みをはじめ、男女がよりよいパートナーとして共に手を携え、積極的に参画できる社会の実現に力を尽くしてこられました。

また、会員の皆様が力を結集し、青少年の健全育成や高齢者福祉、環境保全、国際交流などの課題にも熱心に取り組まれ、「ゆとり」と「うるおい」のある県民生活を創るため、多大な成果をあげておられますことに、深く敬意を表する次第であります。

さて、島根県におきましては、推計人口が68万人を下回り、若年層を中心とする県外流出に歯止めがかかっていない状況にあり、一刻も早くこうした事態を打開するため、産業の振興や子育て支援をはじめとする地方創生・人口減少対策を強力に進める必要があります。

このため、島根県においては「島根創生計画」を策定し、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を目指して、活力ある産業づくり、結婚・出産・子育てへの支援、女性の活躍の推進、中山間地域・離島振興対策などに取り組もうとしているところであります。

女性が様々な分野で活躍できる環境づくりや、男女共同参画社会による豊かな地域社会の構築を含めた様々な課題の解決に向けては、皆様がこれまで培われた婦人会活動の叡智と経験、そしてネットワークを活かした実践活動が大変期待されているところであります。

創立70周年を契機に、会員相互の絆を一層深められ、明るく住みよい地域社会づくりのために、今後とも一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、島根県連合婦人会の益々のご発展を祈念して祝辞といたします。

巻頭あいさつ

島根県教育委員会
教育長　新　田　英　夫

島根県連合婦人会が創立70周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

連合婦人会におかれましては、県内各地域婦人会と連携を図りながら、会員の皆様の資質向上を目指し親睦を深めて相互に連帯し、女性が抱える諸課題の解決を推進されるとともに、教育・文化・環境・福祉などに関する幅広い活動を着実に展開される中で、明るく住みよい地域づくりに貢献され成果を積み重ねてこられました。この70年の歩みと実績に深く敬意を表する次第であります。

とりわけ近年では、平成29年10月に「第65回全国地域婦人団体研究大会」が本県で開催されました。「歴史に学び今を見つめて　文化のまつり」のスローガンのもと、環境問題、女性活躍、人づくり、領土問題、地域防災など現代社会に山積する諸課題に対して議論を重ねられ、参会者一人ひとりにとって大きな学びと今後の活動意欲の醸成の契機となる充実した大会となりました。

また、家庭教育支援の一環として、家庭を核として地域全体で子供を育むことを目的とした県委託事業「地域における親子の育ち応援事業」に取り組んでいただきました。企画された研修会には各地域婦人会から多くの方が参加され、地域婦人会同士の交流と併せて、親と子が他者とのつながりや関わり合いの中で安心して子育てができる環境づくりの推進と、家庭を中心に地域で子供を育む機運の醸成に努めていただきました。本事業等を通じて、本県教育委員会が進める施策についても多大なる御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今後も県教育行政の推進に御理解をいただき、連合婦人会ならではの全県的な組織力や教育機能をもって、今後とも一層御協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、この創立70周年を契機に連合婦人会の益々の御発展を祈念いたしまして、あいさつといたします。

発刊に寄せて

全国地域婦人団体連絡協議会
会長　岩田繁子

島根県連合婦人会が結成七十周年を迎えられ、記念誌を発刊されますことに心からお祝いを申し上げます。

この節目の年をお迎えになりますまで、歴代会長を始め多くの役員の方々、伝統の実践活動研究集会開催など活動を支え盛り立て、ご活躍下さいました各地域婦人会の団結力・行動力に深く敬意と感謝の真を捧げたいと存じます。

さて、全国の婦人会は、戦後創立以来一貫して自らの啓発活動を通して、女性の地位向上と人の命と暮らしを守り、地域に根差した運動を展開し、お互いに話し合い納得しあい、姑から嫁へ隣から地域へ、学びと実践を通して連帯して「よりよい家庭と地域づくり」活動を積み重ねて参りました。その結果、我が国は、奇跡の成長を遂げ、有史以来74年間もの平和を保持するに至っています。これは、偏に祖父母・父母、先人のご尽力のお陰でもあることはいうまでもないことでございます。

しかし、今日の婦人会を取り巻く環境は、内にあっては会員の減少が進み、外にあっては有史以来活動の原点としてきた活動目標「環境保全・食の安全・住みよい地域づくり・青少年の健全育成、男女平等、世界平和」は、今世紀喫緊の重要課題となっているにも拘らず、地域連帯しての取組みが極めて厳しい環境に直面しているという実態です。

私達の掲げているこれらの六つの目標と実践は、普遍のものであり、この活動は地方活性化の要で他人任せでは出来ず、また一人では果たせないこと、「地域の連帯と絆」で実現出来ることを私達は活動を通して経験して参りました。大切なことは、地方の婦人会活動の盛衰が地方の活性化と深く係わっていることを皆様に訴えたいのでございます。未来志向の象徴、ＡＩ人工智能・5G情報社会の今の時代にこそ古の格言「温故知新」、先人の活動に学び、組織の再興に取り組んでいただくことが必要なのではないかと思うものでございます。

70周年のこの記念すべき年に当たり、皆様には本大会を契機に会員一致協力、全国地域婦人会の先頭に立ってご活躍下り、地域のご発展に尽くされますよう心からご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

安来市

地域の消費者問題に取り組んで

平成31年2月21日に、安来市連合婦人会と、伯太町消費者連絡友の会の方と一緒になって消費者の意識向上に繋げて行こうと「消費者問題研修会」の出前講座を開催しました。

当日は、島根県消費者センターよりお話に来て頂きました。

最後に広瀬地区会員さんが寸劇を披露され、「交通事故を起こした示談金での処理」を求められ、警察に相談された内容でした。

又、2年前には岡山県真庭市リサイクルセンターへ40名で視察研修に行きました。男性の参加者もおられ研修会室は満席でした。リサイクルの建物へ入りましたら、お部屋いっぱいに、電気製品、衣類、日用品、雛段飾り、ミシン等、リサイクル出来るもの、格安の値段をつけて販売する等、ごみの削減に取り組んでおられました。参加された方もそれぞれに買い求めておられました。このように勉強会に参加して知識を深めたいと思います。

最近の消費者トラブル事例と対策　島根県消費者センターとは？

＊架空請求（ハガキメール）　購入してもないのに残金がある。なんだかんだと言ってくる。今振りこめば電子カード等でと言ってくる。

＊電話による詐欺の手口　お宅に要らない靴はないですかと言って家に入るチャンスを狙って来る。

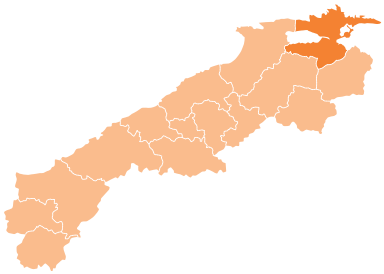
＊定期購入　1回限りで注文したのに次、又送って来た…送り主へ着払いで送り返す。このように色んなことで消費者を巻き込んだトラブルが発生したらまず消費者センターへ連絡する。

「エシカル消費」の具体例について一部です。

- 買い物をするとき、ちょっと待って地域で福祉施設の商品か表示を見て買う協力する
- 寄付金付き商品を買う　●エコ商品をえらぶ　●消費期限にこだわらない

水の都 松江

松江市



松江市連合婦人会は、現在7地域で組織しています。

活動目標は「①ふるさとを愛する心を育もう。②環境問題に取り組もう。」です。リサイクル都市日本一を掲げる松江市には、まつえ環境市民会議があり、私たちもその中心で活動しています。「松江市長と語る会」「リサイクルステーション見回り」「地域婦人会活動発表会」「交通安全署名活動」も毎年行っています。平成30年度には、食品ロス削減運動として冊子を作りました。

食べきり料理レシピ本

はじめに

婦人会では、食べきり運動として、食物の食材を残さず無駄にしないで、料理を作ろうという目的で、各地域の方々からその案をお出し頂きました。

昔は、野菜などの皮や芯まで使った料理をしたものもありました。また食べられる野の草やつくしなども好んで取って食べたりしたことが、今の健康にもつながっているかと思います。

しかし今や処理された食材が、店舗に並んでいる現代ですが、そこでこのレシピを見ながら一度調理をしてみたらどうでしょう。そしてなるべく食べつくして残らない料理をすることも私達の知恵です。

そうすることで、この国の環境にもつながり、ゴミを少しでも減らし将来の世代にもつなぎたいものです。

平成31年3月

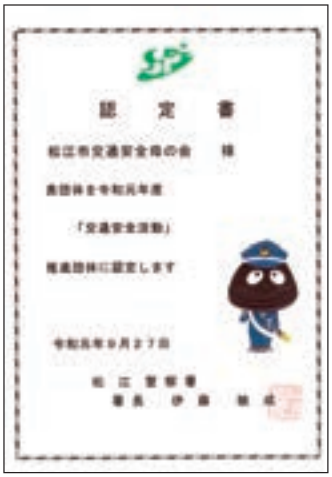
会 長 中 島 郁 子

（平成30年度「食品ロス削減運動」の一環として）

市長と語る会

活動発表会

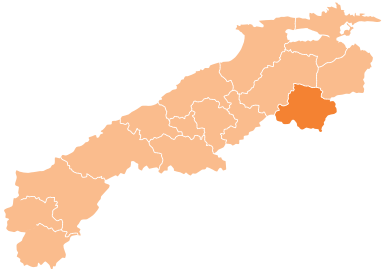
リサイクルステーション見回り



交通安全署名活動認定書

地域とともに

奥出雲町



神話とたたらの里奥出雲は、豊かな自然と仁多米を代表とする食の宝庫です。

この町で９地区から構成される町連合婦人会は、各地区において世代間交流やボランティア活動に取り組んでいます。

世代間交流では、次世代を担う子どもたちにふるさとの良さや、長きにわたり受け継がれてきた伝統行事を絶やすことなく伝えていきたいと考えています。そこで、各地区に伝わる踊りを絶やさぬようにと学校に出かけて踊りの指導を行います。各地区で子どもから大人まで一緒になって運動会や夏祭りのイベントで踊ります。また、幼児園では自然豊かな奥出雲に伝わる笹巻きを園児や保護者の皆さんと作り食文化の継承に努めています。

一方、地域の福祉施設訪問、公共施設の花木管理や清掃等のボランティア活動も積極的に行っています。

少子高齢化や人口減少が進む時代です。婦人会会員も減少傾向であります。しかし、諸先輩方々が積み上げられた婦人会活動のバトンを次世代にしっかりと手渡し、いつまでも地域とともに歩んでいける婦人会でありたいと思います。

児童と一緒に砂田川の清掃作業です

八川地区公民館周辺の花壇作業です。
きれいな花を咲かせます

横田地区文化祭バザー出店。
“おいしいぜんざいとコーヒー”です

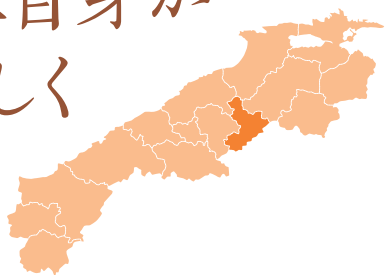
幼児園での笹巻きづくり。粉をこねて
作ります

おばあちゃん、お母さん、孫…
三世代でだんごを丸めます

むずかしい笹の巻き方もていねいに教
えてもらって巻けました

飯南町

飯南町頓原 女性自身が生き生きと、自分らしく



中国山脈に囲まれた飯南町では、高齢化が進み、頓原地域婦人会においても会員数が減少しつつあります。しかし、地域の活性化はやはり女性なくしては出来ないと思います。

婦人会では、平成9年より、研修旅行だった中高年教室を、地元での講演、演芸会に変え、多くの住民の方々に参加していただいています。講演後は、地元の食材を活かした料理等での会食会を行い、自分磨きに精を出しています。

また、昭和29年文化祭から始まった婦人会員でのバザー開催は、昭和58年ふるさと祭り、平成18年公民館まつりとなり、地域住民の相互協力によって活気に満ちたものとなっています。

これからも、女性が生き生きと自分の意志で意見を持ち、活力を維持する活動を行っていきたいと思います。

役員会後研修会

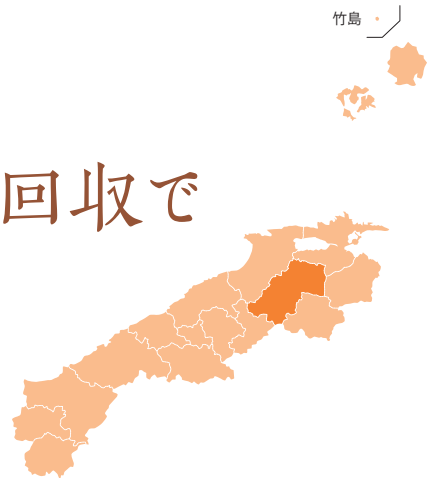
中高年教室 研修会 H30

中高年教室 昼食会 H30

フラワーアレンジメント H31

中高年教室 ライブ R元

公民館まつり バザー（婦人会）R元



雲南市

30年続くアルミ缶回収で活動資金を

きっかけは平成の初め、『アルミ缶を集めてネパールへ学校を』の新聞記事を目にした一人の役員から。『婦人会でも活動資金に』とアルミ缶回収活動が始まりました。瓶ビールが主流の当時、会員は回収したアルミ缶を足で踏み潰していました。そして5年後には圧縮機を購入し、作業能率は大幅に向上してみんな大喜びでした。この圧縮機は今尚現役で活躍中です。機械メーカーさんから大事に使われているとお褒めの言葉も頂きました。

こうして30年の歴史を振り返るとアルミ缶の回収や場所の提供等地域のみな様のご理解とご協力があってこそと感謝の気持ちでいっぱいです。

私たち日登地域婦人会は環境保護や活動資金の一助だけでなく、会員相互の絆や地域のみな様とのつながりを深める役割を果たしていることを再認識し、今後も大切に継続していきたいと思います。

回収かごにあふれる程に集まったアルミ缶

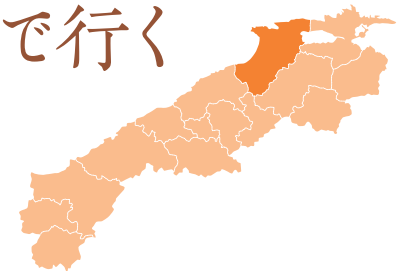
圧縮機だけでなく、足も使って踏みつぶします

愛用の圧縮機と回収かご

たくさん集まったので業者の方に引き取っていただきます

地域の灯をつないで行く

出雲市



出雲市連合婦人会総会は、島根県連合婦人会会歌から始まり島根県連合婦人会綱領唱和と続き会が始まる。各地域では創立当初から活動を共にして来られましたが、当会は15年前に市町村合併により発足した。私はその時に数十年前から無くなった旧出雲市から新たに出雲地域婦人会を設立し、今年度に長年活躍されてきた村上会長から引き継いだ。綱領を初めて目にした時、この基本目標に沿って各地域のお手伝い役として活動してこられた先輩方には脱帽した。大社地域は地元選出の議員さんとも密接に交流したり、一人暮らしの高齢者の食事会のサポートを20年継続され（原会長談）、湖陵地域でも高齢者の食事作り、発酵菌のボカシ作りエコ食の紹介なども続けておられる（三原会長談）。素晴らしい情熱で活躍されていた皆様が加齢と共に、想いはあるけど活動が厳しくなってきた現実に心を痛めておられる。私は皆様が地域でつないで来られた情熱の灯を絶やしてはならないと決心した。微力ながら20、30、40、50歳代の元気のいい皆様に婦人会の素晴らしさを説き、会員を増やし次世代が安心して暮らせる社会創りに邁進し先輩方の灯をつないでいきたいと思います。

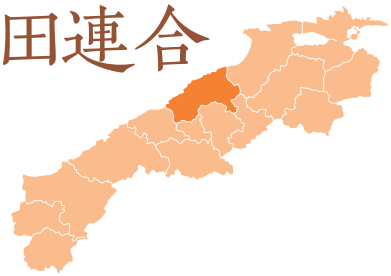
出雲市連合婦人会総会にて、椅子で出来る健康体操

各地域から自慢の食を持ち寄り交流会

一人暮らし高齢者会食会サポート

食を通して地域のお手伝い

私達の取り組み 大田連合



大田市

年々会員数が減少し婦人会活動もままならない今日であります。

そんな現状に焦りを感じながら活動している小さな中山間地域の婦人会です。

何か魅力的な活動、そしてみんなで楽しみながら出来る取り組みをと役員会を重ねながら検討しています。以前から取り組んでいる秋の全国交通安全運動に併せて警察署のご協力をいただきながら交通安全啓発グッツを配り安全運転を呼び掛けています。このほか近年から自然環境を守り人にやさしくしかも廃物の再利用を進めるためのEM菌作りと活用方法を学んでいます。会員みんながEM菌の活用による効果に感動している姿を目の当たりにして役員一同、取り組んでよかったねと喜んでいます。長い歴史と伝統ある婦人会の活動は会員の意見を最優先に今後も新しい挑戦を続けたいと思っています。

交通安全啓発運動

手作りでマグネット啓発運動時配布

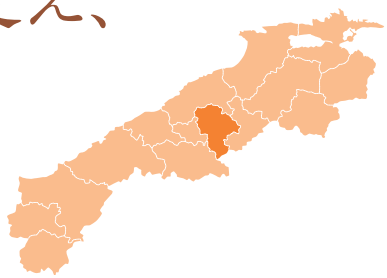
三世代間交流会実施記念花壇

廃油でEM石けん作り

EM菌講習会

美郷町

ピンチをチャンスに変え、地域づくりへ

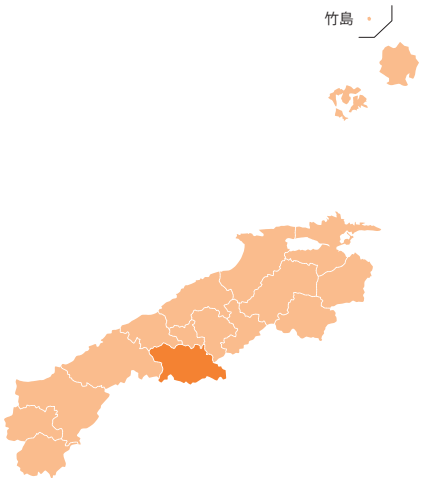


山の谷合から白い煙りがゆったりと立ちのぼる早朝、薪ストーブを囲む人々、小屋の中ではお茶やコーヒーを飲みながら様々な会話が飛び交い絶えまない笑い声が山にこだまする、さあ青空市場のはじまりです。今から十五年前私達婦人会は、サルやイノシシと闘ってみようと立ち上り主催した「獣害に強い畑づくり」講演会を開きました。これを切っ掛けに誰もが学べる畑、青空サロンと名前を付けモデル圃場を設置、講師先生の指導を受けながら活動を開始以来現在に至っています。

これも地域の皆さんのご支援をしていただいたお陰です。無理せず身の丈に合った活動を楽しんでやって来たことが継続に繋がったと思います。現在の世の中は、様々な問題が山積しています。婦人会活動は、どんな問題も前向きに考え、先人の方々の知恵に学びながら、会員の絆を大切に更なる連携を深め、明るく住みよい地域社会づくりに力を注ぎ次世代につなげたい思います。

島根大学生の視察

婦人会青空サロンの収穫祭



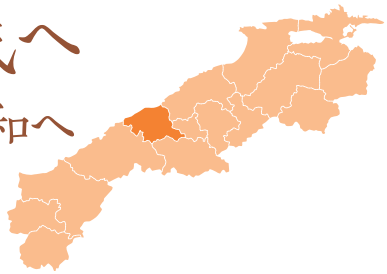
邑南町

そば打ち体験

邑南そば街道推進協議会では、邑南町のA級グルメのまちづくり施策と連携し、「邑南そば街道づくり」に力を入れています。蕎麦の栽培から始まり邑南町独自のそばを栽培しようと試行錯誤しているところです。邑南町には現在数件のそば屋がありますが、Uターン・Iターン者がそば栽培からそば屋を開く準備も進めています。邑南町どこへ行ってもそば屋があるような「邑南そば街道」の実現を目指しています。そこで婦人会も蕎麦打ちの体験を行いました。

「継続は力なり」昭和から平成へ

～そして令和へ



江津市

江津市連合婦人会では、「教育・（ふるまい）・文化・環境・食品ロス・福祉」などに心を寄せて取り組んでいます。

中でも島根県の「ふるまい向上推進事業」は、平成22年から継続しており、昨年第10回目の節目を迎えました。

節目となる講演には、講師にこの事業の発案者である（公財）ふるさと定住財団元理事長の藤原義光氏をお迎えしました。テーマは「ふるまい向上」と「おしゃれで凛」そのテーマに気持ちも高揚し地域振興のキーワードとして、盛りだくさんの10項目を提示され、私たちが活動していくうえで、心打たれる内容ばかりで充実した時間でした。

明るく活力のある地域づくり・ネットワーク・チームワーク・フットワーク・地域を楽しみ、楽しさのおすそ分け、頼られる婦人会であり続けるために…学ぶ事の大切さ、物事を継続していく事の大切さを感じます。

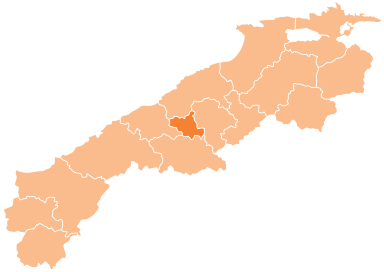
会員一人ひとりの皆さんが婦人団体として共感できる事に喜び、共に歩んで参りたいと思っています。

昭和、平成を振り返り、初心にかえって、新しい令和の時代を安心して暮らせる持続可能な地域づくりの実現に向かって歩みを進めましょう。人とひととの繋がりの「和」、人を思いやる心を養う事で自然に「ふるまい」が生まれる事を信じて！！

楽しく、笑顔で地域のお手伝いが出来るように日々研鑽して参りたいと思います。

地域と共に

川本町



川本町地域婦人会は年間活動目標として「健康と環境を基盤とした活動」“住みよい心豊かな地域づくり”を掲げ活動を進めています。以下は活動一部ですが、地域との連携を楽しみながら婦人会らしい活動に取組んでいます。

主な取り組みとして

● **環境活動**
1. 河川浄化運動（EM菌による下水道の浄化）
2. ゴキブリ団子作り（会員外の世帯への配布）
3. 有害鳥獣対策への取り組み

● **心豊かな健康づくりと地域づくり**
1. 会員交流のグランドゴルフ（月2回）
2. 島根中央高校・川本小学校での体育祭への参加（中国太郎の踊り・玉入れ）
3. 小学校での家庭科授業補助（ミシン操作等の補助）
4. 地域のイベントへの積極的参加（産業祭・音楽芸能祭）

川本町産業祭での食品ロスへ取組（パネル表示）

会員交流グランドゴルフ

ホウ酸ダンゴ作り

家庭へ配布用ホウ酸ダンゴ

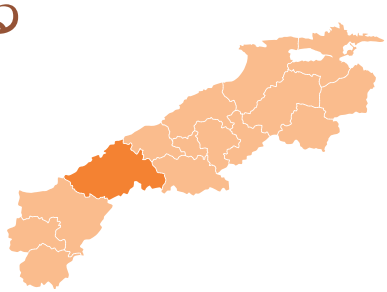
川本町音楽芸能祭参加

家庭科授業補助

イベント参加

浜田市

弥栄地域に於ける活動の中から



戦後に私達の会が歩んだ長い年月を思い起こすと、社会状況が急速に発展しており、それに伴い、私達会員の研修や、地域社会に寄与する活動などを色々と行なってきました。

発足以来毎年続けているのが野菜の品評会で、広く公開し安心安全な食生活につながるようにし、生産者の意欲をもりあげています。

また子育て支援活動にも取り組み、公民館と一緒に、小学校高学年の二泊三日の通学合宿や、お寺で実施される林間学校への協力もし、子どもの健全育成にお手伝してきました。

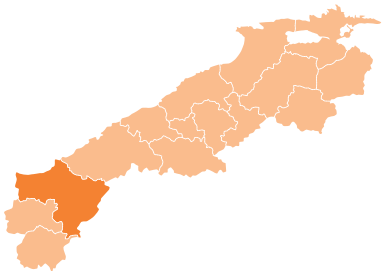
毎新年度、四月より、会員が小中学校の校門前に立って挨拶運動として、子どもたちへの声がけしてコミュニケーションをはかっています。

又、町内の保育所と小中学校の卒業生には、会から祝品を贈り、喜びを共にし、はげましています。

これからも、私達女性が協力しあって、住み良い町になるように、出来ることから取り組み、地域の核になるように、がんばってゆきたいと願っております。

益田市

みんなで学んだ、世界の料理



2019年8月3日、「料理のむこうに、地球が見える」と題して、世界245ヶ国を旅して世界各国の国民食を学ばれ、世界の料理研究家又はスパイス大使、薬剤師として活躍されている松本あづささんを講師に迎え、トルコ・モロッコ・シリア・ポーランド・インド・仏領ポリネシア料理を教えて頂きました。日本料理なら得意な私達ですが、異国料理は初めてでとまどう事もありましたが、さすが主婦、上手に調理できました。午後は世界の旅の話を聞き、皆さんと、楽しい一日を過ごす事が出来ました。

2019年8月3日作成メニュー

A トルコ料理　冷製スープ　ジャジュック
B モロッコ料理　ナスのディップ&パン　ザアルーク
C シリア料理　ひよこ豆のディップ&パン　ホムス
D ポーランド料理　ブルーベリーの餃子　ピエロギズヤゴダミ
　ロシア料理　手作りのサワークリーム　スメタナ
E インド料理　カレー&ライス　ムルグマカーニ／バターチキン
F 仏領ポリネシア料理　南国デザート　ポエ

津和野町

津和野町地域婦人会 活動紹介

「ふる里は大きな家族」をスローガンに、津和野小学校校区通学合宿の取り組みを行っている。平成15年より、年1回行っている。

日　時　7月7日から3泊4日
場　所　小川公民館
対　象　津和野小学校4～6年生
参加者　小学生12名、協力委員、婦人会3地域、公民館、自治会、教育委員、青少年協議委員、ボランティアスタッフ　計32名
スタッフの役割　子どもたちによる食事作り、配膳、片付け、洗濯、掃除のアドバイス、体験活動指導、宿泊支援（もらい湯など）

地域婦人会はこうした取り組みに協力し「地域の子は地域で育てよう」の理念の元「生きる力」「家族の大切さ」を実感できる活動にし地域と一体になって今後も頑張っていきたい。

学習

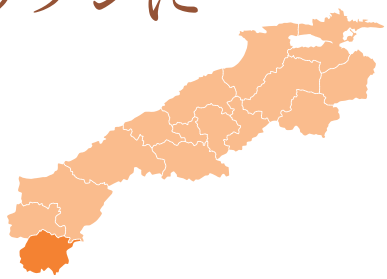
食事の様子

レクリエーション

閉所式

吉賀町

よしか・夢・花マラソンについて



平成31年4月28日の開催で14回目となりました。毎回ゲストランナーを迎えてのマラソンです。参加者約千五百人から千六百人の方が、県内外からやってこられます。6部門の競技種目があり子供から大人まで楽しんで走れます。私達婦人会は、第一回目からたずさわっておられる方の指導により、前日と当日延べ六十人くらいで、千五百食から千八百食の豚汁を準備します。またこのマラソンを三百人以上のボランティアの人達が支えています。食材などは、もちろん購入もいたしますが、会員の方々からもたくさん出していただきます。限られた金額ですので皆さんの協力が一番です。一番嬉しいのが、「今年もおいしい豚汁を食べに来たよ。」「これを食べんと帰れん。」この皆さんの声を聞いて来年もがんばれるのです。

ゲストランナー 高樹リサ

受付

スタート

婦人会 豚汁

隠岐の島町

隠岐の島の宝「子供たち」私達は育み、見守ります

我が隠岐の島町は老人の島になりつつあります！

島に遊園地、屋内遊戯施設もありません。私達はせめてもの「想い」を込めて、カラフルな遊具等を贈り、町の施設に「ミニミニキッズランド」を設置しました。

また、島内の各小学校新一年生に「自分の身は自分で守る」を合言葉に災害に備える訓練等に利用してほしいと願い防災頭巾を贈呈しています。全校生徒に届くようこれからも力をふりしぼりミシンを踏み、まだまだ頑張り続けます。（実績：教育委員会を通し3年間360枚を贈呈）

子供たちの笑顔に救われながら、交通安全街頭指導、非常食作り、各会場でのバザー、各種啓発活動、忘れてはならない隠岐の伝統にわか芸七福神継承、などなど「地域に根づいた活動！」に勤しんでいきたいと思います。

災害に備え
非常食作り

にわか芸「七福神」私達の“おはこ”です

町への贈呈式。子どもたちの「ミニミニキッズランド」

バザー会場にてだしの素、こんぶ販売
うどん、そばもおいしいよ！

防災頭巾製作。
私達にも似合っていますか？

教育長に防災頭巾贈呈

海士町

行政を巻き込んだ活動を!

海士町連合婦人会は過去には14地区に婦人会があり活発な活動をしてきましたが、今は2地区となってしまいました。

婦人会が無くなった地区の方には個人会員として加入してもらっています。

今では会員66名の内、地区会員より個人会員の方が多くなってしまいました。

それでも海士町に於いて婦人会は無くてはならない存在である事を行政にアピールするためにも、毎年行っているエコクッキング教室、スポーツ教室、健康教室の講師を役場職員（管理栄養士・スポーツ普及員・保健師）の方にお願いし、楽しく活動しています。

SHI 縣婦 MANE

島根県連合婦人会

婦人会の心意気！

- **L**isten … 傾聴する
- **O**pen … 風通しのよい人間関係・組織
- **V**oice … 声をあげる！
- **E**njoy … 楽しむ♪

島根県連合婦人会歌

作詞　長岡しげを
作曲　竹内尚一

1. 山はみどりに水きよき
島根のまちや村ごとに
むすぶおみなのまごころは
国の栄の芽とならむ

2. 永久（とわ）の平和をうまし児と
心にいだきやすらけき
世を育まんとはげみあう
国の母こそ理想（のぞみ）なれ

3. 三瓶の星や宍道湖の
面にうつれる月かげの
心もきよくむつみゆく
われら島根の婦人会

● ACCESS　松江温泉駅より徒歩 約3分

島根県連合婦人会

〒690-0874 島根県松江市中原町19番地
一般財団法人 島根県婦人会館内

Tel　0852-23-8181
Fax　0852-26-8828
Mail　info@fujinkaikan.or.jp
HP　http://fujinkaikan.or.jp

婦人会の目的は

学　習	会員の教養を高め、県民としての自覚をたかめる
親　睦	心のかよいあう人間関係をつくる
社会奉仕	明るく住みよい地域社会をつくる

婦人会の性格は

- 各地区町内（支部）を単位として、組織された地域団体です。
- 自主的に組織し自立した団体です。
- 全国的に組織され、活動が行われている団体です。
- 婦人会は、社会教育関係団体といわれています。社会教育関係団体とは、会員の総意によって、社会教育に関係する事業を行う自主的に組織された団体をいいます。
- 島根県の婦人会員は、交通安全母の会、日本赤十字奉仕団、結核予防婦人会の会員でもあります。
- 70年以上の歴史があり、主旨に賛同した方はどなたでも入会できます。

どんな活動をするのでしょうか

婦人会の活動は、婦人会の性格や目的から、活動範囲が幅広いものになっています。地域の実態や女性のライフサイクルなどの中から今日的課題をとり上げ、これら課題解決のために全員が参加して活動をすすめることが大切です。そのためには次のような活動を行います。

1.学習活動

婦人会の学習活動には、社会のしくみを知る学習と教養を高める学習があります。例えば、男女共同参画社会づくりや身近な問題の処理の仕方、家庭の人間関係や地域住民としての連帯意識を高める等の課題解決のために、学習を行います。

1.家庭生活に関するもの
- 家庭経営 • 消費問題 • 余暇生活 • 介護問題 など

2.青少年に関するもの
- 家庭教育 • 青少年の健全育成 など

3.健康安全に関するもの
- 環境 • 家庭看護 • 食の安全、安心 • 交通安全 など

4.市民生活に関するもの
- 地方自治　政治上の各種の制度などを学び、日常生活と政治の結びつきを理解するための学習
- 地域課題 など

5.教養を高めるもの
- 実践発表 • 研修会 • 調査活動 など

2.奉仕活動

奉仕活動（ボランティア）は、明るい地域をつくるための大切な活動です。他からの呼びかけに応ずるだけでなく、婦人会が主体的な活動を行うことが必要です。

ボランティア精神とは
- **自発性**・・・強制されてやるのではなくて、自分からすすんで自発的にとりくむこと
- **奉仕性**・・・自分以外の人のために尽くすこと
- **無償性**・・・行為そのものに報酬を期待しないこと

という三つの柱を中心としたものです。

奉仕活動の内容
- 交通安全運動
- 清掃活動
- 募金活動
- 見守り、声かけ運動
- 災害援護 など

3.社会活動

社会の変化のはげしい中で、生活環境向上のための活動を行います。

- 青少年健全育成活動
- 交通安全対策活動
- 地球温暖化防止活動
- 消費生活問題研究
- 環境保全活動
- 食育・地産地消

など

4.親睦・交流

婦人会活動を実りあるものにするには、会員相互の親睦をはかり、心のかよい合う人間関係を育て、地域の連帯意識を高めることが必要です。

主なもの
- スポーツ・音楽
- 社会見学 • 研修旅行
- 手工芸 • 文化伝承

など

5.広報活動

広報活動は、ただ知らせるというだけでなく、一緒に考え一緒に実践し、みんなで協力しあって信頼関係をつくるのに役立っています。活動の状況を知り、意欲を高めるはたらきをもっています。

具体的な方法
- ホームページの活用 • 広報紙 • 掲示や回覧
- 機関紙や会報 • 講演会 など

島根県連合婦人会　概要パンフレット（令和元年度作成）

島根県連合婦人会会旗

編集後記

島根県連合婦人会創立70周年記念事業の一環であった、記念誌の編集を無事に終える事が出来ました。

この記念誌の発刊にあたり、県知事様をはじめ、議長様、教育長様、全国地域婦人団体連絡協議会長様から温かいご祝辞を賜り誠にありがとうございました。

創立から70年、途絶えることなくここまで紡ぐことができたのも諸先輩方の並々ならぬ努力と知恵の賜物です。受け継いだ婦人会の意思は次世代に繋げるよう私たちも今まで以上に考え悩み支え合い前に進まなければなりません。

平成から令和へと新しい時代に変わりましたが婦人会の本質は変わる事はありません。常に婦人会としてできることは何かを考えながら地域を人を大切に時代に沿って活動を邁進していきます。笑顔が何よりの力の源です。会員の皆様にはどうかいつまでもお元気でご活躍下さいます事をお祈り申し上げます。

終わりになりましたが、ご寄稿いただきました皆様に厚くお礼を申し上げ、編集後記のご挨拶とさせていただきます。

◇編集委員◇

野々内　さとみ
藤　田　千　鶴
賀　戸　ひとみ
吉　野　健　一
坂　本　靖　明

コロナ禍によりマスク着用